



神奈川県立歴史博物館
(旧横浜正金銀行本店)
荘厳なバロック様式の建築。関東大震災では無事だったが、太平洋戦争の空襲で被災、失われたドーム屋根は1967年に復元され、馬車道のシンボルになっている。

1904年建築
設計 妻木頼貞
国重要文化財

TEL 045-201-0926
横浜市中区南仲通5-60
開館時間 9:30~17:00
月曜定休(祝日の場合は開館)
※資料整理及び年末年始に休館日あり
<http://ch.kanagawa-museum.jp/>



山下公園
関東大震災時の瓦礫で埋め立て、1930年に開園した日本初の臨海公園。太平洋の女王 氷川丸が港のシンボルとなっている。

TEL 045-671-3648(横浜市 南部公園緑地事務所 都心部公園担当) 横浜市中区山下町2791



日本郵船歴史博物館
日本郵船横浜支店として建築され、外観は16本のコリント式円柱が並び当時の銀行建築でよくみられたアメリカ古典主義様式で、内部のオフィス空間は端正なアール・デコ様式となっている。

1936年建築/設計 和田順顕

TEL 045-211-1923 横浜市中区海岸通3-9 開館時間 10:00~17:00
月曜定休(祝日の場合は開館、翌平日休館) <http://www.nyk.com/rekishi/>



YCC cafe
カフェレストラン
歴史的建造物である旧第一銀行の美しく荘厳な空間を満喫できるカフェ。現在は、地産地消にこだわった安心ごはんを提案する地元馬車道のカフェ「80*80(ハチマルハチマル)」とコラボレートしている。

TEL 045-221-0325
横浜市中区本町6-50-1 ヨコハマ創造都市センター1階
営業時間 11:00~19:00 <http://www.yaf.or.jp/ycc/>



Original Joe's
イタリアンレストラン

1953年開業の、東京・横浜を通じて最も古いイタリア料理店。雰囲気ある店内で、薄くパリッと焼き上げたピッツァをはじめとした本格イタリアンが楽しめる。

TEL 045-651-2315 横浜市中区相生町3-60
営業時間 平日 17:00~21:15(L.O.) 土 11:30~21:15(L.O.)
日祝 11:30~20:15(L.O.)
<http://www4.plala.or.jp/Jo/>



BLUE BLUE YOKOHAMA
服・雑貨

大棧橋のふもとにある、マリネイト溢れるアイテムの揃うSHOP。隣接した姉妹店の「ロータスバケット」では有機、天然酵母のパンが楽しめる。

TEL 045-663-2191 横浜市中区海岸通1-1
営業時間 平日 11:30~20:00 土・日・祝 11:00~20:00
http://www.hrm.co.jp/blueblue_yokohama/



BarBarBar
ジャズライブレストラン

ジャズの生演奏を聞きながら、お酒や食事が楽しめる横浜の文化を彩ってきた歴史あるお店。大切な記念日に利用するお客さんも多い。ライブは毎日19時半頃開催。

TEL 045-662-0493
横浜市中区相生町1-25 若葉運輸ビル1階・2階
営業時間 1階バー/18:00~翌3:00 日曜定休
※ただし翌月曜が祝日等の場合は営業(詳細は下記HPにて)
2階レストラン/18:00~0:00 無休
<http://www.barbarbar.jp/>



cafe FLOWER
ベルギービールと創作料理のカフェ

赤い看板と黄色いバイクが目印のお店。20種類のベルギービールはもちろん、料理・デザートも大変充実。店内ペットOKなので、山下公園で愛犬とお散歩したあと訪れてみては。

TEL 045-662-3787
横浜市中区山下町24-7 シティコート山下公園1階 **UR賃貸住宅**
営業時間 月~土 11:30~23:00 日 11:30~17:00
<http://www.cafeflower.info/>



HOF BRAU
レストラン&バー

戦後まもなくに開業した「古き良き時代の港町ヨコハマ」を感じさせる洋食の老舗。親子3代にわたって通うファンもいるこのお店の定番メニューは、ナポリタンにチーズをのせ、オープンで焼いたスパビザ。

TEL 045-662-1106 横浜市中区山下町25 上田ビル1階
営業時間 平日 11:30~13:30/17:00~21:30
土・日・祝 11:30~21:30
月曜定休(祝日の場合翌日)

関内界隈
まち歩き案内



横浜第二合同庁舎(旧横浜生糸検査所)
関東大震災の復興で建てられた最大規模の鉄筋コンクリート建築。遠藤式ルネサンスと呼ばれる伝統的な西洋古典主義様式を表現している。

1926年建築/設計 遠藤於菫
横浜市認定歴史的建造物

万国橋通り

北欧の照明器具がウィンドウを美しい光で飾っている。エキゾチックな横浜の街の風景。



日本興亜馬車道ビル(旧川崎銀行横浜支店)
1989年 景観行政をすすめる横浜市の補助でファサードを残して現代的なオフィスとして建て替え、歴史的建造物保全のモデルとなった。

1922年建築/設計 矢部又吉
横浜市認定歴史的建造物



吉田橋関門跡

観光スポット周遊バス あかいくつ号
横浜市営で2005年から運行開始。毎日桜木町と港の見える丘公園間を循環している。



横浜開港資料館 蔵

弁天通り

(左:明治末~大正初期の風景/下:現在)
関内の代表的な街路のひとつ、明治から大正にかけて外国商館や貿易商が軒を連ね、現在はオフィスとマンションが林立する。



英国国会議事堂のガス灯

馬車道にはロンドンや近郊都市からやってきたさまざまなガス灯が並び、

の「近代街路樹発祥之地」という碑が示すように、街路樹も植えられ、日本最初の陶管による近代的下水道も完成、1890年(明治23)には電灯もつくという時代の最先端をいく道路でした。

関内の居留地は東西約2km、南北約0.8km。碁盤目状に整然と区画され、税関である運上所や横浜町会所など木造洋風の外国商館が立ち並び、メインストリートとなる日本大通りが生まれました。その後、横浜市役所や横浜正金銀行本店、開港記念横浜会館(旧名)など、石造や煉瓦造の大きな建築も加わります。1899年(明治32)には条約が改正され、居留地に自由な出入りが許されると、いっそう活気溢れる国際都市の姿が形成されていくこととなります。

1927年(大正12)に発生した関東大震災により、関内だけでなく横浜の主要な地域は全て被害を受けましたが、首都東京に隣接する日本最大の国際貿易都市としての復興の力は目覚ましく、震災時の瓦礫を埋め立て日本初の臨海公園である山下公園が造成されるなど、逆境をバネにした近代都市の形成に拍車がかかりました。しかし1945年(昭和20)、太平洋戦争末期の横浜大空襲によって再び関内をはじめ都心地区は壊滅しました。さらなる不幸は駐留軍が長期に都心部を接収したことで、他の

都市に比べて戦後の復興が大きく遅れることとなったのです。

戦後約10年を経て日本経済の高度成長期を迎え、関内の都市機能は次第に回復していきました。とくに横浜が掲げた都市デザインという先進的なまちづくり理念によって公園などの緑と水の蘇生が図られ、歴史的建築物の保全と再生、都市景観の創出などが他都市に先駆けて進められました。馬車道の景観の修景、震災で失った横浜正金銀行や開港記念会館のドームの復元、日本興亜馬車道ビルのファサードの保全、海岸通のゆとりあるまちなみの醸成、旧英国領事館前の開港広場の整備、旧富士銀行建物の東京芸大大学院映像研究科としての活用、さらには大棧橋上屋のリデザインなど多岐にわたっています。また2004年に開業した都市高速鉄道みなとみらい線の馬車道・日本大通り両駅も、関内の歴史性を彷彿とさせるデザインで登場しました。

若者や家族連れで賑わうみなとみらい21中央地区や活気に満ちた中華街に隣り合う関内は、深々とした歴史を土壌にした大人の街であり、活力を秘めながらも佇まいはしつとりと落ち着いています。その洗練された美しい都市の姿は横浜の原風景としてこれからもいっそう磨かれていくことでしょう。